

教員用指導案

■ 本時の目的

1. 課題研究の意義と、年間の流れを理解させる。
2. 理解を深めるために、課題研究の「テーマ設定」を体験させる。

■ 事前準備（担任）

1. 男女混合班の作成（1 クラス 6 班が目安）
2. 当日は、課題研究メソッド・課題研究ノート・電子辞書の 3 点セットを用意するよう連絡しておく

■ 当日の配布物・掲示物

- | | |
|----------------------------|---------|
| ✓ 生徒用資料 A（B4 片面 1 枚） | ←全員に配布 |
| ✓ ワークシート No.1～4（A3 両面 2 枚） | ←全員に配布 |
| ✓ マッピング用の白紙（A3 1 枚） | ←班ごとに配布 |
| ✓ マッピング用の付箋紙（1 束） | ←班ごとに配布 |
| ✓ 昨年度のポスター（2 枚） | ←黒板に掲示 |

■ 本時の流れ ※理型は 2 時間連続で実施する。（※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。）

導入（5分）オリエンテーション

1. 机を班の形にする。
2. 生徒用資料 A の「はじめに」を黙読させる。
3. 生徒用資料 A の「課題研究のステップ」を読み上げながら、大まかな流れを提示する。
 - ✓ リサーチクエスチョンや仮説の定義をここで簡単に触れる
 - ✓ メソッド p.12 に詳細が載っているので適宜確認するよう指示
4. 年間スケジュールを説明する。
 - ✓ 1 年間を通して同じ班で活動を行う
 - ✓ 研究を本格的に行うのは、文型が 6 月以降、理型が 9 月以降
 - ✓ 最終的には研究成果を 1 班 1 枚のポスターにまとめる
 - ✓ 9 月の SSH 成果発表会で 3 年の発表会（＝ポスターセッション）を見学することができる
 - ✓ 文理合同のポスターセッションを 3 月に行う
5. 昨年度のポスターを参考資料として見せる（1 年間のゴールをイメージさせる）

展開 1（45分）テーマ設定の模擬体験 1

1. キーワードを抽出させる。【課題研究メソッド(以下:メソッド)p.42、ワークシート No.1 左上】
 - ✓ メソッド p.42 の記事を題材にしてキーワードを抽出させる
『ここからは、リサーチクエスチョンの設定と仮説を立てるまでの流れを模擬体験してもら

います。メソッド p.42 を開いてください。ここから少し時間をとるので「授業を通し深刻さ理解」という記事を読みながら、内容のキーワードを抽出してみましょう。抽出したキーワードはワークシート No.1 の左上枠内に書き出してください。』

2. 班で書き出したキーワードを出し合う

- ✓ 各自のメソッドを一度閉じさせる (p.45・46 にこれから作成するマップが載っているため)
- ✓ ひとりずつどんなキーワードを抽出したか発表する
- ✓ 自分の抽出していないキーワードが出れば随時ワークシートに書き足す

3. 班で出たキーワード一つ一つの意味・定義・関連する語いを調べる

- ✓ 調べる用語は班の中で分担する (すべてを自分で調べて記入する必要はない)
- ✓ 調べる際は、辞書を用いる
- ✓ 自分が担当した用語の結果は、ワークシート No.1 の「キーワードの意味や定義」の欄に記入

4. キーワードの図解化 (=キーワードマッピング) を行う

- ✓ 班に白紙 1 枚と付箋紙 1 束を配る
- ✓ キーワードを付箋紙に書き、キーワード同士の関係図を班でひとつ作成する
- ✓ 形式はあえて指定せず、「メソッド p.42 の記事を図解化する」という条件のみを提示
- ✓ 多くの班が作業を終えたタイミングで、マッピングの例を見せる【メソッド p.46】

課題研究 SL①

◇ 文型はここで課題研究 SL①終了

『次回の課題研究 SL②は、今回と同じ班で行います。課題研究メソッド・課題研究ノート・辞書を持参して下さい。』

◇ 理系はつづけて課題研究 SL②を実施

課題研究 SL②

展開 2 (45分) テーマ設定の模擬体験 2

1. 班でひとつのテーマを設定する【ワークシートに記入箇所なし】

- ✓ メソッド p.47 を目で追わせながら、つぎのテーマ設定に進ませる。
『キーワードマッピングをもとに、今度は班ごとのテーマを決定します。同じ題材をもとにしても、切り口によって様々な課題が浮かび上がると思います。ここまでの活動を通して疑問に思ったことや、好奇心を抱いたことを班で出しあい、一つのテーマを決めましょう。ワークシートには記入する欄がないため、No.3 の空いたスペースにメモをしてください。』
- ✓ テーマの例は、メソッド p.47 「あなたの研究テーマ」を参考にさせる。

2. テーマをもとにリサーチクエストを設定する

- ✓ 『先ほど決定したテーマから、今度はリサーチクエストを導きます。リサーチクエストとは、「研究テーマ全体で明らかにしたい問い」のことでしたね。ここでは、まだ“漠然とした疑問”で構いません。決定したら、ワークシート No.3 左ページに記入してください。リサーチクエストは班で共通のものですが、記録用に全員自分のワークシートにメモをとって下さい。』

3. リサーチクエストを具体化させていく【メソッド p.52】

- ✓ ここから再びメソッドを使用する。
『ここからは、先ほどのリサーチクエストを掘り下げ、もう少し具体的にしていきたいと思います。メソッド p.52・53 を開けて下さい。具体的な疑問を導くには、この **a.どこの地域が対象か** **b.対象者はどのような人か** **c.いつの時代の話か** **d.どのような状況を想定しているか** **e.どの学術分野に重点を置いて研究を行うのか** という5つのステップを踏みます。では、班で話し合い、ワークシートの続きを埋めましょう。』
- ✓ 今回の掘り下げかたは「社会的なテーマ」に適した手法であるため、生徒が今後オリジナルのテーマ設定を行う上で「自然科学」を選択する場合は、ワークシート No.3 右ページを参考にしよう伝えておく。

4. 完成したテーマとリサーチクエストを班毎に発表する

- ✓ 各班 1 分程度（班の代表者）
- ✓ 設定したテーマとリサーチクエストの両方を理由とともに説明する

5. 設定したリサーチクエストを見直す【メソッド p.59】

- ✓ 5つのチェックリストをもとにリサーチクエストを見直す
『ここまでで研究テーマとリサーチクエストの設定を体験してもらい、また、他の班のアイデアも聞いてもらいました。次回の授業からは具体的に、自分たちの興味や関心に基づいてテーマ設定を行っていくわけですが、そのときにいくつかの注意事項があります。メソッド p.59 を開いて下さい。ここには、自分で設定したリサーチクエストに対するチェックリストが載っています。課題研究は研究本体の時間が8時間と限られています。そのため、研究方法の見当がまったくつかないものや、時間がかかりすぎるものについては手直しが必要となります。』
- ✓ 時間に余裕があれば、修正すべき点を班の中で挙げさせる。時間がなければ、各自で確認させるにとどめる。
- ✓ メソッド p.12 の「マジックワード満載になっていないか」のページを開かせ、あいまいな表現でリサーチクエストや仮説を設定してしまうと、その先の研究活動で行き詰まる可能性が高いことを注意しておく

まとめ（5分）

1. 次回の予告

- ✓ 班ごとのテーマ決定を行う
- ✓ 班は今回と同じ

2. 次回までの課題提示

- ✓ テーマ決定のきっかけとして個人で最低 5 個のキーワードを考えて、ノート p.2「キーワードの抽出」に書いてくる
- ✓ キーワードは、最近気になっている時事ニュース、読んだ本の中で興味を持ったこと、昨年授業で習ったことで探求してみたい事柄などからピックアップするようにアドバイスする。
- ✓ 研究テーマ一覧（メソッド p.32・33）も参考にさせる

3. 次回の持ち物

- ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート、テーマ決定に必要な参考資料（自分が挙げたキーワードについての web 資料、書籍など）

■ 備考

1. 初回の授業の中で班長を決めてください。

冒頭で決定するか、話し合い活動を進めた上で決定するかは担任の先生方にお任せいたします。班長が決まりましたら、授業終了後に高山までお知らせ下さい。

2. 課題研究や課題解決能力の育成などの意義については、先生方の考えを盛り込みながら生徒に伝えてあげてください。

3. 授業の最後に提示した課題は回収しません。課題研究 SL③の授業に持参させてください。